

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和6年度あおり農業グローバルチャレンジ（提案型海外研修）の
募集について

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、令和5年度9月補正予算により、県内農業高校及び営農大学の生徒・学生に対し、提案型海外研修に係る費用の一部を支援したところです。

令和6年度は、若手農業者を対象として追加するとともに、渡航可能エリアをアジア地域から欧米等にも拡大して実施することとし、参加チームの募集を開始しましたので、お知らせします。

つきましては、多くの方々に周知するため、貴媒体での紹介・掲載等に御配慮くださるようお願いいたします。

記

1 支援の概要

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～10人程度）

※支援の割合は、学生部門が10/10程度、農業者部門が1/2程度で、それぞれ1チーム当たりの上限あり

2 応募期限

令和6年5月31日（金）

3 選考方法

書面審査、企画競技会（プレゼンテーション審査）後、予算の範囲内で採択（概ね5チームを予定）

※企画競技会は令和6年6月中旬に青森市内で開催予定

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

あおもり農業グローバルチャレンジ

県では、農業のグローバル化に対応した人材を育成するため、若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した**提案型海外研修**を支援します！

企画テーマ

農業のスマート化、デジタル化、グローバル化、輸出戦略等の将来の本県農業の課題解決に向けた視点で、「自ら学びたいこと」と「本県農業に役立つこと」を踏まえた企画提案としてください。



対象者

学生
部門

令和6年度に県内の農業高校、営農大学校又は大学に在籍し、日頃から農業・農村の課題解決に向けて授業やゼミ等で学習している**生徒・学生**

- ※同じ学校で3～10人程度のチームをつくり、応募してください。
- ※同一校から複数チームの応募も可能ですが、同一人が複数のチームで応募することはできません。
- ※農業高校、営農大学校の場合は、必ず同校の教職員（1～2人）が引率してください。

農業者
部門

応募時の年齢が**50歳未満**（チームの平均年齢が50歳未満となる場合は55歳未満）で、意欲的な県内の**農業者**

- ※3～10人程度でチームをつくり、応募してください。
- ※同一人が複数のチームに所属して応募することはできません。
- ※同じ農業法人に所属する方は、1チームに2人までとします。

海外研修の実施期間

令和6年8月から令和7年2月末まで ※渡航期間は移動日を含む11日程度（現地での研修は7日程度）を想定していますが、支援額等を考慮いただいた上で、自由に設定可能です。

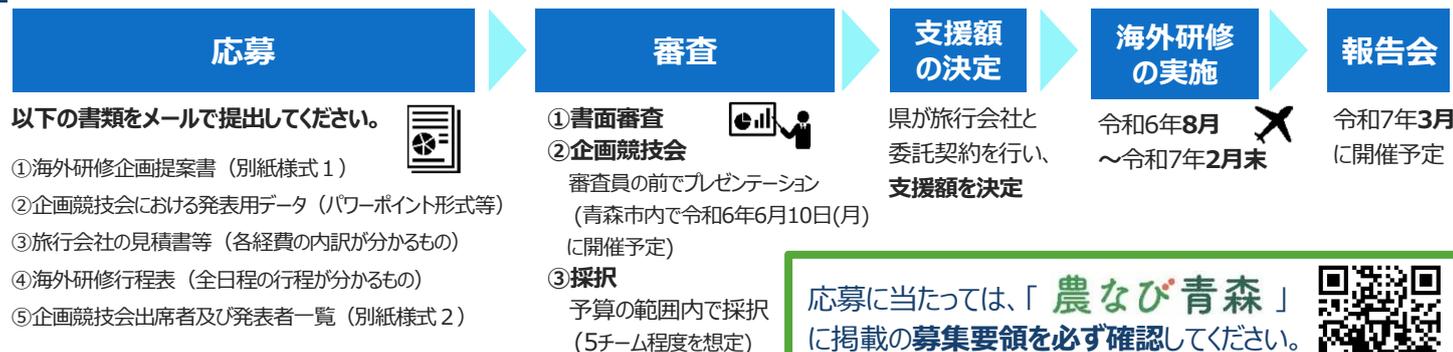
支援対象経費

 ※単なる観光のみの日程に係る経費や食事代は対象外（自己負担）

- 交通費（渡航費、現地交通費、国内移動含む）
- 宿泊費
- 通訳ガイド・コーディネート料
- 海外旅行保険料
- Wi-Fiレンタル料
- 空港税等諸経費
- 受講料・視察料・体験交流に係る経費
- 旅行会社手数料及び消費税

	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）	
学生部門	10/10程度	欧米等：520万円程度	アジア地域：240万円程度
農業者部門	1/2程度	欧米等：260万円程度	アジア地域：120万円程度

実施の流れ



応募に当たっては、「**農ナビ青森**」に掲載の**募集要領**を必ず確認してください。

<https://www.nounavi-aomori.jp/farmer/archives/8422>

応募期限：令和6年5月31日（金）

応募先
（主催・問合せ先）

青森県 農林水産部 構造政策課 担い手育成グループ 〒030-8570 青森市長島1丁目1-1
電話 017-734-9463 / FAX 017-734-8136 / E-mail ninaiteikusei@pref.aomori.lg.jp
※農業者部門の場合は、最寄りの地域県民局地域農林水産部農業普及振興室への提出も可